ninoyu satoshi
発行所:自由民主党京都府参議院選挙区第三支部
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310
発行人:二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字:栢木寛照

えとす

平成30年 No.306 7・8月合併号

京都の智恵を日本に活かす。

二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

内政外交で実績を重ねた安倍首相
総裁選挙で自民党の活性化を

安倍首相に対抗する政治家は誰か

第196回国会が7月22日に182日間の会期を終えた。1月22日に開会した国会は、昨年の国会と同様、予算委員会では野党から、森友学園、加計学園問題に、質問が集中した。森友問題では公文書の書き換え、加計学園では面談記録の廃棄処分などについて厳しく追及されたが、関係大臣の辞任までには至らなかった。予算成立後は、南北首脳会談、米朝首脳会談に国民の関心が移り、森友、加計問題は急速に政局問題から離れてしまった。それでも、世論調査を見ると、この問題に対して国民はいまだに釈然とした気持ちになっていない。その点は、安倍首相はじめ閣僚は謙虚に反省し、政治運営に臨まなければならない。いよいよ自民党の総裁選挙である。選挙は9月20日が有力であるが、安倍総裁、噂に上っている人も正式に立候補に名乗りを上げていない。第2次安倍内閣の内政・外交の実績は多くの人が認めるところであるが、長期政権の緩みなどを批判する人もある。健全野党が存在しない今、自民党内で大いに議論を戦わせることは、国民の政治への関心を高め、自民党の活性化にも貢献する。総裁選挙の盛り上がりを大いに期待したい。

広島県三原市災害現場を視察(7月21日)
(出典:首相官邸ホームページ)

恒心

★医師の免許は一生ものである。俗な言葉でいえば、この免許さえ取得すれば、安定した収入が得られ、一生食いはぐれがない。子を持つ親とすれば、子供の将来を考えると、何としても医学部に入学させたいという気持ちになるのだろう。★医師国家試験の平均合格率は90%となっており、司法試験などと比較して、それ程難関ではない。ただ医師国家試験は「医学の正規の課程を修めて卒業すること」が受験できる前提条件となっている。従って、医学部受験がし烈となっているのである。★文部科学省局長の息子が、不正入試で、東京医科大学に合格していることが明らかになった。私立大学支援事業の対象校として選定する見返りに、局長が医学部に進学したい息子を合格させてほしいと頼み、収賄罪で逮捕された。★親バカという言葉がある。子供のことになると盲目的になる。ある意味では見境もなく、溺愛する気持ちになる。裏口入学が悪いことだと思っていても、可愛い子供のことになると、善悪の判断も考えず、相手に不正を要求する気持ちになってしまったのか。★親の不正工作も知らず、一生懸命に受験勉強し、念願の医学部に入学して、将来人の命を救いたいと、勉学に励んでいた子供にとっては、余計なお世話だと怒っていることだろう。果たして真相はどうだったのか。★長い秘書生活の中で、金が用意できれば医学部入学をあっせんすると誘われたこともある。私はそんな話は半信半疑で信用しなかった。大抵の場合、依頼した人の金は相手に回らず、そこに巣くう人たちに食われてしまい、適当な理由をつけられて、入学できず、ドブに金を捨ててしまう結果になる。医は仁術、医師は人を思いやり、人を救う、崇高な職業である。正々堂々と難関を突破して、資格を取得してほしい。

京都西田氏、滋賀二ノ湯氏　自民党参議院選挙公認候補者に決定

来年夏には第25回参議院通常選挙が執行される。自民党本部は7月20日、選挙区選出議員(公認候補者37名)、及び比例代表選出議員(公認候補者19名、公認内定1名)を決定した。選挙区選出議員として立候補予定の京都選挙区の西田昌司参議院議員、滋賀選挙区の二之湯武史参議院議員も公認された。西田氏は3度目、二之湯氏は2度目の挑戦となる。

自民党は公認基準を70才定年としているが、特例として70才以上の人も公認している。今回も選挙区選出議員選挙には3名、比例選挙区選出議員選挙には6名が公認された。原則が崩れたと言う意見もあり、党の新陳代謝が遅れるという声もあるが、反面人生100年時代と言われている。70代であってもまだまだ元気である。しかも、長年に亘って培われた経験、体験、知見は非常に重要である。気力、体力とも充実して働ける人は、頑張って国家に貢献して貰いたい。来年は12年に1度、統一地方選挙と参議院通常選挙が同じ年に行われる。統一選挙の終わった後の選挙は、選挙疲れもあり、参議院選挙は盛り上がりに欠けると言われている。現在の政党支持率、内閣支持率が高いと言っても、選挙は1年先である。情勢がどう変わるか分からない。各陣営とも今から、しっかりと取り組む必要がある。

6月25日、参議院予算委員会で自民党を代表して質問する二之湯武史参議院議員

自民党京都府連定期大会で決意表明をする西田昌司参議院議員

二之湯武史氏

昭和52年1月21日生(満41才)
平成12年京都大学経済学部卒
平成12年3月松下政経塾
平成15年稲盛財団フェロー1期生
平成18年CLフォーラム(教育事業)設立
平成25年参議院議員初当選
現在・参議院予算委員会理事
参議院自民党副幹事長

西田昌司氏

昭和33年9月19日生(満59才)
昭和56年滋賀大学経済学部卒
昭和62年西田昌司税理士事務所開設
平成2年京都府議会議員初当選
平成19年参議院議員初当選
平成25年参議院議員再選
現在・参議院決算委員会筆頭理事
参議院自民党国会対策委員長代行

再度国政に挑戦

参議院議員　**二之湯武史**

戦後73年が経ち、我が国の姿も大きく変化しました。奇跡の高度経済成長を可能にした『人口増加』『内需拡大』は既に終わって『人口減少社会』に入っています。

また世界においても、グローバル化の進展、地球規模での気候変動、新興国の台頭、科学技術の飛躍的進歩、など人類のあり方も変化を迫られています。

私は、今の我が国を冷静に分析したとき、かつての成功体験があまりにも強烈過ぎて、その延長線上でしか発想出来なくなっている、と思います。

変化する必要性は理解しているが、これまでのやり方を捨ててまで変われない、という姿をあらゆる組織や地域で見ることが出来ます。1人1人が勇気を持って変わらなければならないのです。

私の使命はただ1つ。我が国を『自律した尊厳ある個人』が活躍する、時代に相応しい価値創造社会にすることです。

そのために、再度国政に挑戦する決意を致しました。皆さまの温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

来年の参議院選挙に向けて

参議院議員　**西田昌司**

来年の参議院選挙は、12年に1度統一地方選挙と重なる年です。同士の自民党の統一地方選挙の候補者の方々と共に、全力で戦って参ります。

7月の豪雨災害始め、異常気象が続いています。災害に強い国土作りが急務です。そのためにも亀岡や大津へ抜けるダブルルートが必要です。また、北陸新幹線の早期完成のための予算化、更に山陰新幹線の整備計画化は北部や南部の産業振興には欠かせません。

また、北朝鮮問題や北方領土問題の解決のためには、日米の結束と同時に、憲法についてタブー視せず議論する必要があります。

二ノ湯府連会長のご指導の下、こうした問題解決のために全力で働いて参ります。二ノ湯先生の後援会の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

自民党京都府連 災害対策本部
京都府下災害現場を視察

7月5～8日にかけて降り続いた豪雨によって、京都府北部地方では死者5名をはじめ、大きな被害を受けた。自民党京都府連では、被災地の早期の復旧・復興をはかるために、府連内に「災害対策本部」を設置した。7月15、16日の両日、対策本部では、一見は百聞にしかずと対策本部長の二ノ湯参議院議員、副本部長の西田参議院議員、本田衆議院議員が被災地を視察した。綾部市、舞鶴市、宮津市、与謝野町、京丹後市、福知山市の順で被災現場を見て回った。各地域では地元府議会議員も同行し、市長、町長から被害状況の説明を受け、国、府の援助の要請を求められた。今回の豪雨によって、多くの道路が寸断し、又丹後地域では鉄道も被害を受け、通勤、通学に大きな影響をもたらした。鉄道は今後復旧までに、相当な時間を要する。なお政府、自民党でも15日に牧野国交副大臣、16日には、竹下亘総務会長が被災地に入り、被害状況を視察した。府連対策本部では、被害状況を取りまとめ、7月31日、衆参国会議員、丹後選出の府議会議員が、国交省に牧野国交副大臣を訪問し、復旧・復興のために、国の財政支援等を要望した。

牧野国交副大臣に要望書を手渡す

滋賀・京都間の国道1号バイパス
今月建設促進期成同盟会設立へ

国道1号の滋賀・京都間における交通渋滞は慢性的である。大都市と県庁所在市をつなぐ道路が片側1車線とは、あまりにも貧弱である。渋滞を解消して、観光客往来を便利にし、物流の効率化をはかり、地域経済の活性化を目指すために、3月18日に両府県の自民党の国会、地方議員が集い、新しい国道1号バイパス建設促進議員連盟を立ち上げた。建設を更に促進するために、滋賀県、京都府、京都市はじめ各自治体、関係団体が結集して、建設促進期成同盟会を設立することになった。京都府、滋賀県、京都市のトップが整備促進に合意した意味は大きい。8月21日、滋賀県危機管理センターに於いて、設立総会を開催する。今後、議員連盟、期成同盟会が、二人三脚で1号バイパスの建設促進に向けて、活動を展開していくことになる。

自民党京都府連統一選公認候補決定
京都府会21人、京都市会21人

8月4日に開かれた自民党京都府連定期大会で、来春4月に予定されている統一地方選挙での京都府議会、京都市会の第1次公認候補者を発表した。

京都府議会議員選挙　候補者一覧表

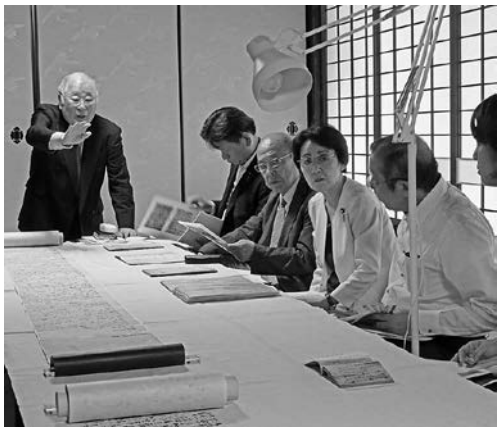
北区	岸本　ゆういち	現
左京区	石田　宗久	現
東山区	荒巻　隆三	現
山科区	すがや　寛志	現
下京区	小巻　みつじ	現
南区	秋田　公司	現
右京区	二ノ湯　しんじ	現
西京区	こんどう　永太郎	現
伏見区	まえなみ　健史	現
	わたなべ　邦子	現
福知山市	井上　しげのり	現
	家元　まさる	現
舞鶴市	池田　まさよし	現
綾部市	四方　源太郎	現
宮津市 与謝郡	中島　たけふみ	現
亀岡市	中村　まさたか	現
城陽市	そのさき　弘道	現
向日市	いその　勝	現
長岡京市 乙訓郡	のせ　まさひろ	現
八幡市	中川　きよし	現
南丹市 船井郡	片山　せいじ	現

京都市会議員選挙　候補者一覧表

北区	小林　正明	現
	山本　恵一	現
上京区	中村　三之助	現
	寺田　一博	現
左京区	さくらい　泰広	元
	たまき　哲ろう	新
中京区	津田　大三	現
	かとう　昌洋	現
東山区	平山　たかお	現
山科区	富　きくお	現
	吉井　あきら	現
下京区	下村　あきら	現
南区	ムクダ　隆知	現
	しまもと　京司	現
右京区	田中　たかのり	現
	森田　守	現
西京区	田中　あきひで	現
	西村　よしなお	現
伏見区	しげ　隆夫	現
	はしむら　芳和	現
	みちはた　弘之	現

自民党文化立国調査会が京都へ
国宝、重文の保存、修理を視察

国民的な財産である国宝・重要文化財の保護施策を支援する自民党文化立国調査会(山谷えり子会長)に所属する衆参議員一行は、京都における国宝、重要文化財の保存、修理の実情を視察するために、7月26日、京都を訪問した。先ず初めに7月の豪雨で被害を受け、土塀の一部が崩壊した上賀茂伝統的建造物群保存地区(社家町)にある北大路家へ行った。次いで、近くの上賀茂神社に向かい、田中宮司から神社の概要を聞いた。その後、冷泉家に伝わる文化財の修復作業を見学し、冷泉ご夫妻より、冷泉家の家屋の修理、文化財の保存、伝統行事の継承の苦労話を伺った。次いで、京都国立博物館内の文化財保存修理所で、仏像、古文書などの修復作業を視察した。修復作業は実に根気のいる緻密な仕事である。


冷泉家で古文書の修復作業を見学

修理所では157人の修理技術者が働いている。三十三間堂を訪ね、千体の仏像の維持管理の難しさの説明を受けた。最後に、妙法院に行った。妙法院庫裏(僧侶が居住する場所・国宝建造物)は、大正7年の修理から、100年が経過し、数年後に大修理に着手する予定であるが、約10億円の事業費が必要とのことである。今回の視察で、京都の歴史、文化の深さを知るとともに、改めて文化財の維持、管理には多額の金がかかることを痛感した。

第5回 二之湯たけしまつり

平成30年8月29日(水) 午後6時～午後9時

なんと! 松山千春さんがやってくる!!

場所 びわ湖大津プリンスホテル コンベンションホール淡海

入場料 前売 7,000円(税込)　当日 8,000円(税込)

お申し込み・お問い合わせ

二之湯まつり実行委員会(二之湯たけし事務所内)

〒520-0051 大津市梅林1-3-25 森田ビル6階　TEL:077-527-4010 FAX:077-527-4030

身辺雑記

一、アメリカファーストのトランプ大統領が登場してから、国際政治、経済が混乱している。中国からの輸入品に25%の関税を課す、それに対抗して中国もアメリカ製品に同様の関税をかける。両国の報復合戦にどんな利点があるのか。

一、日本中を恐怖に陥れたオウム真理教によるサリン事件。教祖麻原彰晃他12人に死刑が確定してから8年～12年近い月日が経過していた。上川法務大臣は、死刑執行を命令、7月6日に7人、26日に6人が実施された。

一、熱中症で倒れる人が相次いでいる。暑い時の運動を避け、冷房をかけて、水分を補給し、塩分を取りなさいと注意をしても、耳を貸さない人が後を絶たない。そのせいで、京都市消防局の救急車搬送は7月で例年の3倍近くになった。

一、母親の遺品整理をしているが、その中に私が市会議員時代から発行している機関誌が全て保管されていた。また、家内の釣書と見合い写真が出てきてびっくりした。改めて母親の子に対する想いの深さを思い知った。

一、痛風になり易い体質の私は、痛風の大きな要因となるビールをできるだけ飲まないようにしている。しかし、こんなに暑いと、会食の時、先ず生ビールを1杯となる。しかし、凡人で、1杯で終わらなくて、つい飲み過ぎとなる。

一、公務員採用、大学入試でも、女性が成績の上位を占める。採用、入学数で男女のバランスが崩れているのも事実。東京医大の入学試験で、女性の点数を一律に下げ、男性を有利にしていた。男性の奮起を促すべきで、本末転倒である。

残暑 お見舞申し上げます

連日、厳しい暑さが続いています。ご機嫌いかがですか。

日頃は私の政治活動に何かとお世話になり、誠に有難うございます。

酷暑の折、お身体に十分気を付けて、お元気でこの夏を乗り切ってください。

平成三十年八月吉日

参議院議員　二ノ湯 智

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会

年会費　1口1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228